



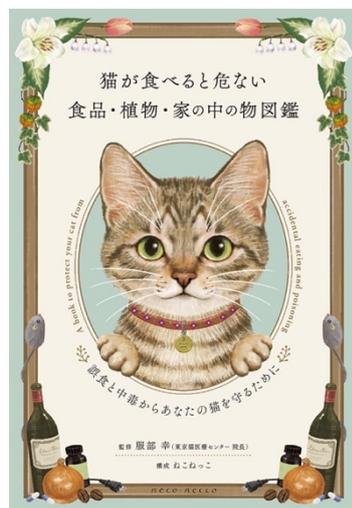
報道関係各位

2021年2月25日
猫の本専門出版 ねこねっこ
(株式会社 C&B Production 内)

【猫の本専門出版+監修：猫専門医】3月12日発売
『猫が食べると危ない食品・植物・家の中の物図鑑
～誤食と中毒からあなたの猫を守るために』
多発する事故の防止に役立つ、猫飼いさん必携の1冊！

猫の本専門出版「ねこねっこ」（千葉県千葉市／出版代表：本木文恵）は、猫が食べると胃腸障害や腸閉塞、中毒を起こしやすい危険な物をまとめて解説した実用書『猫が食べると危ない食品・植物・家の中の物図鑑 ～誤食と中毒からあなたの猫を守るために』を2021年03月12日（金）に発売いたします。

【URL】 <https://neco-necco.net/nekoabu/>



◆猫だからこそ「誤食・中毒」に対応した、初めての飼い主さん向けの本

家の中で最も起きやすく、猫が命を落とすこともある「誤食」の事故。猫の代表的な手術・入院理由でもあり、全身麻酔による治療が必要になれば、猫の体に負担がかかるほか、高額な医療費がかかります。また、猫にとって有害となる成分を含み「中毒」の原因となる物は、とても身近な食品や植物、化学製品などです。犬では大きな問題にならなくても猫では重篤な症状を起こす成分を含む物もあります。

人の暮らしの変化に合わせて、猫がうっかり口にしてしまう物も変わってきています。そこで本書では、「今の日本の猫の暮らし」に沿った誤食・中毒を起こしやすい「食品」・「植物」・「家の中」の物を紹介し、事故の予防・対応を解説します。監修は、猫専門医の服部幸先生(東京都江東区「東京猫医療センター」院長)です。治せない病がある一方で、誤食・中毒は飼い主さんが防いであげることができます。この1冊で猫の命を事故から守る知識を得て、暮らしの安心・安全に役立ていただければと思います。

◆「どんな物が・なぜ・どれくらい」猫に危険か、写真・危険度付きでわかりやすい

誤食・中毒を予防する最も有効な方法は、飼い主さんが「どんな物が、なぜ猫にとって危険となるのか？」を正しく知って、猫が勝手に食べないように遠ざけることです。

そのため本書では、国内外の事故調査や研究報告を広く収集しながら、紹介する品目ごとに飼い主さんがとくに警戒したいレベルがわかる目安として「危険度（1～3段階）」を決め、わかりやすく紹介しています。すべて写真付きなので、たとえば名前がよくわからない植物であっても見た目から判断できます。

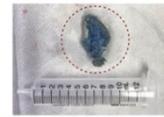


危険度 🐱🐱🐱

誤食が多発！
弾力があって
閉塞を起こしやすい

正方形のパネルの縁をつないで組み合わせ、床に敷いて使うジョイントマット。室内でのケガを防止したり、遊びはねたときの音を吸収してくれるので、小さいお子さんがいる家庭などで広く使われています。ホームセンターやインテリアショップ等で広く販売されるようになりましたが、猫の誤食事故が相次いで報告されています。「病院でも猫がかじって飲み込んでしまい、開腹手術に至るケースがとて増えています」（原部先生）。

危険性が高い理由は、その弾力性です。ポリエチレンや、コルクとEVA樹脂を組み合わせた素材などで、飲み込んだものが食道や腸に隙間なくすべりとはまって、猫が吐くことも排泄することもできず、閉塞を起こします。とくにパネルが1枚1枚の凹凸部分は猫が噛みやすい形状。敷いたときに凹凸が側面に突き出しにならないようにしてください。それでも猫がマットに興味を持ち、マットに噛んだ形跡があるなら使わないほうがいいでしょう。人の安全のために必要な場合もありますが、愛猫が興味を持ちにくい動物（例：タイルカーペット、撥水加工のマットなど）に変えるか、上からカバーで覆うなど対策をしましょう。



猫に噛まり、開腹手術により摘出されたジョイントマットの欠片。症状として嘔吐や元気がない様子が現れられます。

スズラン

（科名）
Lily of the Valley



学名 Conopsea majalis / コノプセア スズラン, Conopsea lutea (日本産スズラン) など
危険度 🐱🐱
分類 切り花/鉢植え/ドライフラワー
毒がある部分 すべて、とくに花と根、莖葉

可愛らしい見た目に反して強力な毒。心臓病の治療でも使われる「コンボトキシン」などの強心配糖体を含みます。コンボトキシンは水溶性であるので、猫に食べられたとき口にすると強効。症状は嘔吐・下痢（出血を伴うことも）、重症では心臓の低下、不整脈などを起こし、最悪、心不全によって死に至る危険もあります。

ツツジの仲間

（科名）アマノハナシタケノコ、ツツジ科、アザミ科など
Aspidistra



学名 Aspidistra sp. / アザミ科/ツツジ科
危険度 🐱🐱
分類 アザミ科/ツツジ科
毒がある部分 すべて、とくに花の蜜や葉

すべての部分、とくに葉や花の蜜に、ツツジ科特有の毒成分「グランドロキシン」を含み、花の蜜は3mg/kg、葉は体重の0.2g/kgを摂取すると有害ともいわれています。全ての部分で強効の危険があり、不整脈や嘔吐、運動失調、おう吐などを起こすことも、とくにレンゲツツジや、同じ科のアセビは毒薬として有名です。

◆マスクの誤食も！ コロナ禍での暮らしの変化にも対応

猫がマスクの紐を食べてしまったり、丸ごと食べて腸閉塞になるなど、マスクの誤食の報告が相次いでいます。「消毒液を付けた手を猫がなめるので心配」「殺菌効果のあるティーツリーは大丈夫？」など、コロナ禍だからこそ飼い主さんの不安が高まっている中毒についてもフォローしています。

◆イラストはすべて、「猫絵師」霜田有沙さんによる描き下ろし

猫好きさんに大人気のイラストレーター霜田有沙さんが初めて書籍の装画を手がけたのが本書です。扉絵・コラムの挿絵もすべて描き下ろし。愛猫の命を守る実用書を目に付くところに飾っておいて、さっと取り出して活用してほしい。そんな思いからビジュアルにもこだわった1冊です。



《目次》

序章 猫の誤食と中毒

- ・猫の誤食・中毒の傾向を知ろう
- ・口にしたら?と思ったら、状況別の対応を
- ・誤食時のおもな診断と治療

1章 猫が食べると危ない食品

2章 猫が食べると危ない植物

3章 猫が食べると危ない家の中の物 ～誤食編

4章 猫が食べると危ない家の中の物 ～中毒編

<Column>

- ・人が食べるものを与えるなら気をつけたいこと 魚/肉・卵/乳製品/野菜・フルーツ
- ・猫に「安全な」植物ってあるの? ・家庭用殺虫・防虫剤の注意点 ・室内に潜む危険から猫を守ろう

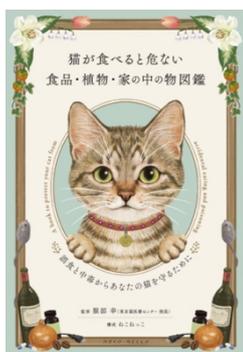
《監修者プロフィール》

服部 幸 (ハットリ ユキ)

東京猫医療センター(東京都江東区)院長。JSFM(ねこ医学会)CFC理事。これまで北里大獣医学部卒。2005年から猫専門病院長を務める。2012年に東京猫医療センターを開院。2013年、国際猫医学会からアジアで2件目となる「キャット・フレンドリー・クリニック」のゴールドレベルに認定される。おもな著書に『猫からのおねがい 猫も人も幸せになれる迎え方&暮らし(監修)』(ねこねっこ)、『猫を極める本』(インターズー)など。



《仕様・価格》



- 監修：服部 幸(東京猫医療センター院長)
- 構成：ねこねっこ
- 装画：霜田有沙
- 四六判 縦188mm 横128mm 厚さ12mm
- 160ページ 並製 フルカラー
- 価格 にゃおにゃお円+税(税込にゃにゃにゃにゃ円)
2,020円+税(税込2,222円)
- ISBN 978-4-910212-02-9 C0077

*全国の書店、一部猫雑貨店やカフェ等でお買い求めいただけます。

*Amazon・楽天ブックスほか、おもなオンライン書店でも販売します。

Amazon <https://amzn.to/3ueXg58>

楽天ブックス <https://books.rakuten.co.jp/rb/16592733/>

猫の本専門出版「ねこねっこ」とは？

猫専門の編集者・ライターが2020年3月に立ち上げた、猫の本だけを制作する“ひとり出版社”です。

「猫ブーム」に象徴される猫人気の影響や時代の移り変わりを経て、猫を取り巻く環境も、猫という生き物に向けられる感情も、大きく変わってきています。そんな中でも、人と猫がこれからもよりよい関係を築いていけるように。ねこねっこは、猫の「今」を見つめ、「未来」に役立つ本を専門家の協力のもと1冊ずつ丁寧に編み、猫が大好きな方達にお届けします。

猫と人のこれからを創る

猫の本専門出版 ねこねっこ（株式会社 C&B Production 内）

千葉県千葉市緑区大椎町 1251-170

代表：本木文恵（編集者・ライター、1級愛玩動物飼養管理士）

URL：<https://neco-necco.net/>

Twitter&Instagram：@neco_necco_net



【本リリースに関する報道お問い合わせ先】

ねこねっこ代表：本木文恵

TEL：050-5373-8637（平日 9:30～17:00）

FAX：03-4335-0982

e-mail：info@neco-necco.net

<https://neco-necco.net/>